

は追放せられて津姫は臣一なり一安日
と云一のの末まゝや安日并子孫の事
末に記し傳れむゝに略を六箇郡とい秋
田河邊雄勝山手平麻由理六郡の事や
又奥州五十郡の内は六郡と指しあふ
や古人は秋田河邊雄勝山手平麻仙山を六
郡といふ東鑑九し是曰後系朝臣恭衡文
治三年十月継於父遺詔爲出陣奥押領
使管領六郡とあり又續太平記二十九し
是は伊達大膳大吏といふ人あり伊達伝吏

六郡を領しなり一兼出羽國長井庄といふ
所小指位をりし亦尚ほ一處の大名にてと
ありけ文を推されは六郡といふは奥州の
内はありやいほこ志しを略又追て尋ぬ
べし初落とい部は國と訓を今大名の出入
を入部といふ落は村と訓を吳越越は剽掠
虎豹之落とあり滋蔓の二字はお件は記を
大守は陸奥守なり一秋田城は八女の
其一なり續太平記九し是曰棟大内奴は姓
背武家は八女を中定むる一は所謂